

平成30年度 第1回・秋田県合同輸血療法委員会世話人会

日 時： 平成30年5月29日（火）18時～
場 所： 秋田県赤十字血液センター 会議室
出席者： 面川、藤島、林崎、小塚、上村、阿部
欠席者： 星野、天満、西成、小笠原、樋渡、
事務局： 柳谷、菅原、
二部、寺田、吉田、國井、鎌田

議事次第（進行：秋田県健康福祉部医務薬事課）

1. 挨拶

2. 平成29年度概要報告（資料3）

各部会報告（資料4）

3. 平成30年度事業計画

（ア）秋田県合同輸血療法委員会

① 日程： 平成30年11月___日（___）、県庁第二庁舎（秋田市）

②報告： 1. 血液製剤使用状況調査報告

2. 追加アンケート調査報告

③討論主題： _____

④追加アンケートテーマ

⑤講演・話題提供： _____

（イ）平成30年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業への応募

（研究課題名）

（ウ）：各部会からの計画（資料5）

（エ）地区輸血講演会・研修会（看護師・輸血検査技師対象）、等

① 看護師のためのステップアップ輸血研修会（資料6）

9月29日（土）、秋田大学医学部基礎講義棟2F第二講義室（秋田市）

②地区輸血講演会（〇〇病院を予定）

昨年度は秋田厚生医療センター、一昨年は由利組合総合病院

② 輸血検査研修会（輸血検査技師対象、9月に予定）

9月30日（日）、秋田大学医学部（秋田市）

4. その他

（ア）簡易輸血マニュアル、TRIGGER TABLE の利用について

資料

- 1 秋田県合同輸血療法委員会要綱・部会設置要綱
- 2 秋田県合同輸血療法委員会組織
- 3 平成 29 年度概要報告
- 3-1 第 19 回秋田県合同輸血療法委員会プログラム (2017/11/16)
- 3-2 中央地区輸血講演会プログラム (2018/2/10)
- 3-3 輸血検査研修会報告 (2017/12/16)
- 3-4 看護師のためのステップアップ輸血研修会 (2017/9/30)
- 4 平成 29 年度各部会活動報告
- 4-1 各部会出席者名簿
- 5 平成 30 年度各部会活動計画
- 6 過去の討論主題と講演の一覧
- 7 模擬 I&A 受諾施設

合同輸血療法委員会組織（世話人名簿）

①研究者名	②分担する研究項目	③所属機関及び 現在の専門 (研究実施場所)	④所属機関に おける職名
面川 進 (研究代表者)	研究の総括	秋田県赤十字血液センター：血液事業・輸血学 (輸血認定医) (秋田県内医療機関)	所長
藤島 直仁	適正使用状況調査 医師教育研修 術前貧血の評価	秋田大学医学部附属病院：血液内科・輸血学 (医師・輸血療法委員会副委員長) (輸血認定医) (秋田大学・秋田県内医療機関)	副部長
星野 良平	医師教育研修 術前貧血の評価	市立秋田総合病院：心臓血管外科 (医師・輸血療法委員会委員) (市立秋田総合病院・秋田県内医療機関)	科長
林崎 久美子	適正使用状況調査 医療機関連携	大曲厚生医療センター：臨床検査・輸血学 (認定輸血検査技師) (大曲厚生医療センター・秋田県内医療機関)	主任
阿部 真	適正使用状況調査 ホームページ作成	秋田県赤十字血液センター：血液事業・輸血学 (薬剤師) (秋田県内医療機関)	事業部長
上村 克子	看護部門輸血研修 医療機関連携、教育研修	中通総合病院：7階病棟（整形外科・泌尿器科） (学会認定 臨床輸血看護師・自己血輸血看護師) (中通総合病院・秋田県内医療機関)	師長
天満 和男	医師教育研修 安全な輸血療法の推進	雄勝中央病院：外科 (医師・輸血療法委員会委員長) (雄勝中央病院・秋田県内医療機関)	院長
小笠原 仁	医師教育研修 安全な輸血療法の推進	大館市立総合病院：消化器・血液・腫瘍内科 (医師・輸血療法委員会委員長) (大館市立総合病院・秋田県内医療機関)	副診療局長
西成 民夫	医師教育研修 安全な輸血療法の推進	由利組合総合病院：血液内科・輸血学 (医師・輸血療法委員会委員長) (由利組合総合病院・秋田県内医療機関)	診療部長
小塚 源儀	輸血検査部門輸血研修 適正使用状況調査、医療機 関連携、ホームページ作成	大館市立総合病院：臨床検査・輸血学 (大館市立総合病院・秋田県内医療機関)	臨床検査技師
樋渡 佳代子	看護部門輸血研修 医療機関連携	雄勝中央病院：4階病棟（外科） (学会認定 自己血輸血看護師) (雄勝中央病院・秋田県内医療機関)	師長
柳谷 由己	適正使用状況調査 施設間情報伝達の確立	秋田県健康福祉部医務薬事課：薬務行政 (薬剤師) (秋田県庁、秋田県内医療機関)	副主幹
菅原 剛	適正使用状況調査 データ集計 施設間情報伝達の確立	秋田県健康福祉部医務薬事課：薬務行政 (薬剤師) (秋田県庁、秋田県内医療機関)	主査

様式 6

秋合輸委第 2018-1 号
平成 30 年 3 月 27 日

支出負担行為担当官
厚生労働省医薬・生活衛生局長 殿

秋田県合同輸血療法委員会
面川 進

平成 29 年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業実績報告書の提出について

標記について、平成 29 年 9 月 7 日付けで契約した委託契約書第 16 条の規定に基づき、次のとおり提出いたします。

(提出書類)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 事業実績報告書 | 別紙 4 のとおり |
| 2 委託費所要額精算書 | 別紙 5 のとおり |
| 3 支出済額内訳書 | 別紙 6 のとおり |

委託事業実績報告書

項目	事業内容	実施方法
平成 29 年度 血液製剤使用適 正化方策調査研 究事業	<p>1. 血液製剤の使用状 況調査</p> <p>2. 秋田県合同輸血療 法委員会の開催（秋 田市）</p>	<p>平成 28 年度輸血用血液製剤の使用単位数 100 単位以上の医 療機関、及び過去に調査を依頼した 58 施設（県内供給比率 95.3%を占有）を対象に、平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までの 12 ヶ月間における輸血用血液製剤、及び アルブミン製剤の使用状況、自己血輸血実施状況をアンケー ト方式で調査(45 施設が回答、回収率 77.6%)した。また、 臨床研修医における輸血療法に関する周知度調査として、秋 田県内基幹型臨床研修病院 14 施設の平成 29 年度前期・後期 臨床研修医を対象として追加アンケートを行った。 使用状況調査結果、及び追加アンケートの結果は、平成 29 年 11 月 16 日に開催された第 20 回秋田県合同輸血療法委員 会で報告された。 また、平成 29 年度秋田県合同輸血療法委員会報告書とし て、各医療機関に配布する予定である。</p> <p>平成 29 年 11 月 16 日、秋田県庁第二庁舎会議室において、 第 20 回秋田県合同輸血療法委員会を開催した。医療機関 26 施設、67 名が出席した。</p> <p>【報告】 自己血及び血漿分画製剤を含む血液製剤の使用状況調査の報 告、及び臨床研修医における輸血療法に関する周知度調査の 結果を報告した。</p> <p>【特別講演】 第 20 回の節目となったことから、特別講演を 2 つ行い、代 表世話人面川進医師による特別講演 1「秋田県合同輸血療法 委員会 20 年のあゆみ」、佐賀大学医学部臨床検査医学講座 教授末岡榮三朗医師による特別講演 2「PBM の今後の展開」 を行った。</p> <p>【討論主題】 平成 28 年度から継続して研究テーマに掲げている Bloodless Medicine の実践を目指し、各医療機関における 院内監査の推進と若手医師の教育について「制限輸血のす め」として、世話人の秋田大学医学部附属病院輸血部副部長 藤島直仁医師から講演行った他、I&A 受審の視点を踏まえた 院内輸血監査の報告や、若手医師への教育の実践についての 報告を行った。</p>

	<p>3. 医師部会、看護師部会、検査技師部会の開催</p> <p>4. 中央地区輸血後援会の開催（秋田市）</p> <p>5. 輸血検査技術研修会の開催（秋田市）</p> <p>6. 看護師のためのステップアップ輸血研修会</p> <p>7. 世話人会の開催（2回）</p>	<p>平成 29 年 11 月 16 日の合同輸血療法委員会に先立ち各部会を開催した。医師部会 16 名、看護師部会 4 名、検査技師部会 12 名が出席し、血液製剤使用適正化方策調査研究事業研究計画、簡易輸血マニュアルについての意見交換、小規模医療機関への活動方針や、今後の活動について討議した。</p> <p>秋田県合同輸血療法委員会主催の地域輸血講演会を平成 30 年 2 月 10 日、秋田市の秋田厚生医療センター講堂で開催した。医師、看護師を中心とし 77 名の参加があった。輸血用血液製剤の適正使用と安全な輸血療法に資する目的で「輸血用血液製剤の取り扱い」及び「輸血副作用とその対策 最近の動向から」として教育講演を行った。さらに「Bloodless Medicine-Best Transfusion Practice を目指して-」として基調講演を行った後、院内監査等の推進と若手医師の教育への取り組みとして自施設の現状報告を中心に 3 施設から報告され、活発な討論が行われた。</p> <p>秋田県合同輸血療法委員会と秋田県臨床検査技師会及び秋田県赤十字血液センターの共催で、輸血検査技術研修会を平成 29 年 12 月 16 日に開催した。秋田大学医学部基礎実習棟を会場として、輸血検査を担当する技師 47 名が参加した。「輸血検査の基本を学ぶ」を主題に、認定輸血検査技師を中心に 17 名を指導者として依頼した。</p> <p>秋田県合同輸血療法委員会看護師部会を中心として、平成 29 年 9 月 30 日に「看護師のためのステップアップ輸血研修会」を秋田大学医学部臨床講義棟にて開催した。輸血医療の概要と血液製剤の管理、輸血の実際と看護に必要な基礎知識や輸血副作用とその対策についての看護師の役割を学ぶことを目的に、「安全な輸血を実施するために」をテーマとした。県内 28 施設の 102 名が参加した。</p> <p>第 1 回世話人会（5 月 9 日）： 秋田県での適正輸血推進のために、合同輸血療法委員会での討論テーマの選択や、アンケート項目の決定、講師の選定を行った。地域での輸血講演会を予定した。また平成 29 年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業への応募内容について確認を行った。</p> <p>第 2 回世話人会（11 月 16 日）： 合同輸血療法委員会開催当日に、今年度事業の輸血講演会及び輸血に関する研修会の開催について打ち合わせを行った。Bloodless Medicine の徹底を目的とし、各医療機関の輸血療法委員会を通じての周知方法や、輸血監査の実施等について検討した。また、看護師部会作成による「秋田県簡易輸血</p>
--	--	--

	<p>8. 制限輸血の普及啓発</p> <p>9. 秋田県簡易輸血マニュアルの作成</p> <p>10. Trigger Table の作成</p> <p>11. Home Page の活用</p>	<p>ポケットマニュアル」及び検査技師部会による H28 年度アンケートによる小規模医療機関への輸血実施状況等の報告形式等について確認が行われた。</p> <p>Bloodless Medicine 制限輸血の普及を目的に、秋田県内で開催される輸血の研究会、学会、研修会の機会をとらえ、講演等を実施した。</p> <p>1) 平成 29 年 4 月 18 日 大曲厚生医療センター研修会 「Bloodless Medicine -Best Transfusion Practice を目指して-」 (医師 25 名、看護師等 36 名参加)</p> <p>2) 平成 29 年 5 月 26 日 能代厚生医療センター研修会 「Bloodless Medicine -Best Transfusion Practice を目指して-」 (医師 7 名、看護師等 71 名参加)</p> <p>3) 平成 29 年 6 月 22～24 日 第 65 回日本輸血・細胞治療学会総会 (幕張) 口演「秋田県合同輸血療法委員会の制限輸血に対する取り組み」 示説「術前貧血および自己血実施に伴う鉄剤等の貧血補正の実施状況について」</p> <p>4) 平成 29 年 7 月 3 日 市立秋田総合病院医局会「制限輸血ポケットマニュアルについて」 (医師 40 名参加)</p> <p>5) 平成 29 年 7 月 5 日 平鹿総合病院研修会「Bloodless Medicine -Best Transfusion Practice を目指して-」 (医師 30 名、看護師等 40 名参加)</p> <p>6) 平成 29 年 9 月 30 日 看護師のためのステップアップ輸血研修会「看護師のための制限輸血について」 (看護師等 102 名参加)</p> <p>7) 平成 29 年 11 月 16 日 秋田県合同輸血療法委員会基調講演「制限輸血のすすめ」</p> <p>8) 平成 30 年 2 月 7 日 宮城県合同輸血療法委員会使用適正化説明会特別講演「制限輸血-Best Transfusion Practice を目指して-」</p> <p>9) 平成 30 年 2 月 10 日 中央地区輸血講演会基調講演「制限輸血-Best Transfusion Practice を目指して-」</p> <p>看護師を対象とした輸血マニュアルの簡易版を 2,000 部作成した。県内各医療機関に配布する計画である。</p> <p>科学的根拠に基づく輸血の実践のため赤血球と血小板輸血に関する「Trigger Table」を 2,000 部作成した。県内各医療機関に配布する計画である。</p> <p>http://plaza.umin.ac.jp/~tx-akita/ HP を活用し、情報提供及びアンケートの窓口として活用した。</p>
--	---	---

委託費所要額精算書

区 分	支出済額 A	委託費 限度額 B	委託費 所要額 C	委託費 受入済額 D	差引過△ 不足額 D-C
	円	円	円	円	円
平成29年度 血液製剤使用適正化方策調査 研究事業	709,680	708,690	708,690	0	-708,690

(注) C欄は、A欄かB欄のいずれか少ない方の額を記入すること。

支出済額内訳書

経 費 区 分	支出済額	積 算 内 訳
平成29年度 血液製剤使用適正化方策調査 研究事業 謝金 旅費等	円 50,000 267,720	第20回秋田県合同輸血療法委員会特別講師 第20回秋田県合同輸血療法委員会特別講師 (航空機+JR+バス:62,400円宿泊費:16,000円) 平成29年度第1回秋田県合同輸血療法委員会世話人会 旅費:2名(大館3,880円、大仙1,940円) 平成29年度第2回秋田県合同輸血療法委員会世話人会 旅費:1名(羽後本荘1,520円) 日当:8名(3,000円×8=24,000円) 第20回秋田県合同輸血療法委員会医師部会 旅費:1名(横手:2,640円) 日当:7名(3,000円×7=21,000円) 第20回秋田県合同輸血療法委員会看護師部会 旅費:1名(横手:2,640円) 日当:3名(3,000円×3=9,000円) 第20回秋田県合同輸血療法委員会検査技師部会 日当:6名(3,000円×6=18,000円) 第20回秋田県合同輸血療法委員会スタッフ 日当:3名(3,000円×3=9,000円) 平成29年度秋田県合同輸血療法委員会地区講演会 旅費:2名(大館3,880円、大仙1,940円) 日当:11名(3,000円×11=33,000円) 平成29年度秋田県合同輸血療法委員会検査研修会 旅費:7名 (大館3,880円1名、能代:2,980円1名、大仙1,940円2名 由利1,520円、横手2,640円1名、湯沢2,980円1名) 日当:13名(3,000円×13=39,000円)
小 計 ①	317,720	※小計①につき税込

消耗品費	29,706	コピー用紙、ラベルシール、名刺カード等
印刷製本費	226,296	マニュアル作成：看護師マニュアル 108,600 円、トリガーマニュアル 71,400 円 議事録テキスト化 46,296 円
通信運搬費	65,843	郵送費：19,547 円 ホームページ維持管理費：46,296 円
借料及び損料	29,915	合同輸血療法委員会世話人会／部会会場 13,337 円 輸血検査研修会会場 16,578 円
会議費	11,166	お茶等 11,166 円
小 計 ②	362,926	
消費税額及び 地方諸費税額	29,034	(小計②) × 8/100
合 計	709,680	

(注) 積算内訳欄には、員数等積算基礎を詳細に記入のこと。

平成 29 年度各部会活動報告

<p>医師部会</p>
<p>第 4 回秋田県合同輸血療法委員会委員長会議（医師部会） 日 時：平成 29 年 11 月 16 日（木） 12：10～13：00 場 所：ルポールみずほ 2F「ふじ」 議 題：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各施設輸血療法委員長から各施設での輸血に関する懸案事項等報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不適正使用事例への「院内輸血監査」の活用事例が挙げられた ・ I&A 新規取得施設から有用性に関する報告、院内使用適正基準設定 ・ 心臓血管外科領域での使用状況 ・ 輸血前後の感染症検査の推進例 ・ 県内および中央審査での血液製剤査定状況 2) 制限輸血ポケットマニュアルの活用について <ul style="list-style-type: none"> ・ 制限輸血に関する講演会に合わせ指針と共に配布している ・ 投与早見表の部分も有用であるとの意見もあり ・ 少しずつ制限輸血の浸透に寄与しているものと考えられる 3) 秋田県合同輸血療法委員会会議の検討事項等について <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修医教育について、輸血に関しては時間確保が難しい反面、一部の施設では、輸血管理部門へ実地で派遣し研修を行うなどの取り組み例が報告された
<p>看護師部会</p>
<p>平成 29 年 9 月 30 日（土） 第 5 回 看護師のためのステップアップ研修会 104 名参加 今回から、輸血関連看護師連絡会で、学会認定輸血看護師ファシリテーターとして役割を持って一緒に当日の運営を委譲した。グループディスカッションは前回（第 4 回）より活発だった。参加者から、「楽しい研修でした。」という評価があった。 寸劇のシナリオは毎回難渋している。準備に時間がかかなり必要なので、30 年度も 9 月に開催したい。</p> <p>平成 29 年 11 月 15 日（水） 第 1 回 看護師部会</p>

技師部会

平成 29 年 4 月 1 日（土）15：30～17：00 秋田大学医学部

議題：1) 県内小規模医療機関へのアンケート結果報告と今後の対応について

平成 29 年 7 月 22 日（土）15：00～16：00 秋田大学医学部

議題：1) 検査技師部会員の任期について

2) 小規模医療機関への啓発活動について

3) 12 月 16 日の研修会の打ち合わせ

平成 29 年 11 月 16 日（水）12：00～13：00 ルポールみずほ

議題：1) 小規模医療機関への啓発活動について

2) 12 月 16 日基礎実技研修会について

3) 日本輸血細胞治療学会 HP へ掲載された輸血関連情報カードの使用
について

4) MTP について

平成 30 年 2 月 11 日（土）12：00～13：00 秋田大学医学部

議題：1) 合同輸血療法委員会輸血研修会テキストの管理について

2) 小規模医療機関への啓発活動について

3) 認定輸血検査技師への勉強会について

4) H30 年度診療報酬改訂について

平成 30 年 2 月 16 日（金） 15：00～17：00 ビューホテル

秋田県精度管理報告会（医師会向け）にて、県内小規模医療機関へのア
ンケート結果報告

平成 30 年 3 月 27 日（火）県内 26 施設小規模医療機関施設毎の報告書の送付

輸血研修会

平成 29 年 12 月 16 日（土）9：30～16：00

秋田大学医学部基礎実習棟 第 2 実習室

主題：輸血検査の基本を学ぶ

参加人数：49 名（実習生：30 名、スタッフ：17 名、メーカー：2 名）